



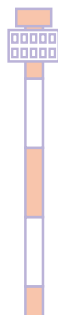
子供たちが
焼き上げた
パーム
クーヘン

あんなにいいや、いいや、いいや

3/ **写真 4**
10 手づくり
木製ベンチを贈呈

愛南町商工会工業部会（小島豊久部会長）が、地域貢献活動の一環として手作りの木製ベンチ 11 台を製作し、町内 11 か所の保育所や幼稚園に寄贈しました。ベンチは杉製で、同部会の有志が建設業や製造業という会員の技能を活かし、2 か月ほどかけて完成させたものです。

あいなん幼稚園で行われた贈呈式では、園児の代表 5 名がベンチを受け取り、「みんなで大切に使います」と、お礼の言葉を述べました。



FROMN TOWNSHIP

3/ **写真 5** **写真 6**
6.7 グリーン・ツーリズムで
田舎体験を満喫！

福浦小学校の 3～6 年生の児童 10 名が、地元の農家や漁家の暮らしを体験しようと「グリーン・ツーリズムの農林漁家民宿宿泊体験」を行いました。宿泊体験では、農家民宿「花ごよみ」、「かじか」、「風山の里」、漁家民宿「大内浦」に 2～3 名ずつが分宿し、サツマイモを使ったおやつ作りや夕食の手伝いなど、家庭とは違う一夜を満喫しました。また、翌日は、東海公民館で「パームクーヘン作り」や「ほうちょう汁作り」を行い、民宿のおかみさんたちと交流を深めながら笑顔で調理に取り組みました。

参加児童からは、「また宿泊体験がしたい」、「いろいろな体験も楽しかった」と大変好評でした。

本日!海日和!! vol.53 **「磯に咲く花」**



イソバナとタキゲンロクダイ

桜の花が各地で満開になり、春の訪れを告げている。海の中の季節は陸上よりも 2 か月ほど遅れるため、まだまだ厳しい冬である。

夏には海水浴客で賑わう鹿島のコーラルビーチに、人の背丈ほどもあるイソバナがある。水深が 25m と深いため、残念ながら海水浴では見ることができない。イソバナはサンゴの仲間であり美しい色をしているものが多く、磯に咲く花をイメージしてこの名がついたようである。

しかし、赤い光はイソバナが育つ海底までは届かず、赤色のイソバナは灰色に見え、枯木のようなものである。撮影のためにストロボの光を当てると本来の色が浮かび上がり、その鮮やかさに魅了されてしまう。

木のような形をしているイソバナは、小さな生き物たちの隠れ家にもなっている。この日も一匹のタキゲンロクダイの幼魚が休んでいた。ダイバーもここに来ると、一年中花見を楽しむことができる。

(撮影地：鹿島) 愛南サンゴを守る会 西尾知照



2/ **写真1**
**18 福浦小が
 南海放送賞受賞**

福祉活動や社会貢献活動で著しい功績をあげた団体等に贈られる「南海放送賞」を、地域と一体となって「防災と福祉」に主眼を置いた防災活動に取り組んでいる福浦小学校が受賞しました。

松山市の南海放送本町会館で行われた表彰式には、木原要子校長をはじめ教職員や同校の児童14名が参加し、代表して川脇あぐりさん(6年生、当時)が、南海放送株式会社の田中和彦代表取締役社長から表彰状を受け取りました。

2/ **写真2**
**21 練習の合間にホッと
 一息～婦人会がお接待～**

南レク城辺球場でキャンプを行う同志社大学硬式野球部を町連合婦人会(森岡眞由美会長)の有志6名が訪れ、特製のじゃこ飯とぜんざいで「お接待」しました。すっかりお馴染みとなったこの「お接待」を楽しみにしていた部員も多く、舌鼓を打ちながら賑やかに交流を深めていました。

同大野球部から今年は97名が合宿に参加し、2月19日から3月1日までの11日間にわたって練習に励みました。

2/ **写真3**
**27 愛南町の皆さん、
 ありがとう**

中浦公民館などで漁業技能実習として日本語の勉強などに取り組んでいたインドネシアからの実習生の閉講式が同公民館で行われました。式では実習生8名がこれまでの研修で学んだ日本語で「1期生なので今後も後輩が日本に来ることが出来るように頑張りたい」などと決意を述べました。式の最後には東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」の合唱が披露され、研修での出来事を振り返りながら思いを込めて熱唱しました。

この後、実習生は3年間の船上実習に入ります。